# 校長室だより 第8号

校長　瀧　俊彰

## ９月２日　大阪８８０万人訓練
## 東光こども園と光陽中学校が
## 合同避難訓練を実施しました。

９月２日に大阪府下で一斉に「８８０万人訓練」と題して南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練が行われました。本校では毎年二学期に近くの東光こども園さんと合同で避難訓練を行っていますが今年度は９月２日の「８８０万人訓練」に合わせて実施しました。

地震が発生した後、大津波警報が発令され運動場に避難するという想定で、まず中学生全員が運動場に避難し点呼をとり人員の確認をしました。その後東光こども園の園児と職員さんが光陽中学校の運動場に避難してきました。生徒会の係が正門まで園児たちを迎えに行き園児の手を引いて運動場に誘導したり、段差のあるところでは園児の乗ったカートを持ち上げたりしてできるだけ早く避難場へ移動できるように助けていました。

平成２４年に東日本大震災が起こり約１８５００人の方が亡くなられました。そのような状況の中で岩手県釜石市では幼稚園、小学校、中学校の生徒は全員無事にそれぞれの地区の高台に避難でき犠牲者はいなかったそうです。後に「釜石の奇跡」と呼ばれています。釜石市では何度も幼少中が一緒に津波に対する避難訓練を行っていたそうです。上級生が下級生を励まし助け、手を引いたり、だっこしたり、背中に背負ったりして目的地の高台まで一緒に避難しました。その訓練があったからこそ実際の現場で全員無事に避難できたことは言うまでもありません。一番大切なものは自分の命、そして他人の命です。命を守るための訓練をこれからも大切にしてください。

東光こども園の園長先生のお話の中に「自分の命を自分で守ることが一番大切です。しかし、小さな子供たちは自分で守ることができません。そんな時に中学生に助けてもらったらどれだけうれしいか、全員の命が助かります。中学生は立派な地域の担い手であります。」ということがありました。地域のつながりを深め、一緒に自分たちの命を守っていくことの大切さを実感した避難訓練でした。

令和４年９月　８日　岸和田市立光陽中学校